

## 令和3年度士別市総合教育会議（第1回） 会議録

- 1 日 時 令和3年4月30日（金） 午後3時30分～4時23分
- 2 場 所 士別市役所2階 会議室201
- 3 出席者 **【構成員】** 牧野市長、中峰教育長、五十嵐教育長職務代理者、馬場教育委員、加藤教育委員、山田教育委員  
**【事務局】** ・教育委員会 三上生涯学習部長、須藤学校教育課長、坂本合宿の里・スポーツ推進課長、武山社会教育課長  
・総務部 半澤総務課長
- 4 報 道 1名
- 5 次 第
  - 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 報告確認事項
    - ・報告第1号 令和3年度士別市教育推進の重点について
    - ・報告第2号 新型コロナウイルス感染症への対応について
    - ・報告第3号 東京オリンピック・パラリンピックに向けた対応について
  - 4 その他
  - 5 閉会

---

### 1 開会

#### ●三上生涯学習部長

はじめに、牧野市長からご挨拶いただき、その後、議長として進行願う。

### 2 あいさつ

#### ●牧野市長

あいさつ要旨

- ・コロナ禍により、様々な会議やイベントが中止になっているところだが、上川管内で

も感染者が増加傾向にあり、本日は2名の感染が発表されたところ。濃厚接触者と判定されPCR検査を行った結果、陰性であった方が、その後発熱し、再検査の結果、陽性と確認された例もある。我々も注意を払わなければならない。また、不幸にして感染してしまった人に対しては、誹謗・中傷することがないよう支えていきたい。

一方で4月28日から医療関係者に対してワクチン接種が始まり、3週間ほどで完了する見込みである。また、本日から施設に入所している高齢者に対するワクチン接種もスタートした。接種啓発の意味から私も接種したが、接種後も体調に変化は表れておらず、多くみなさんに接種してもらいたいと思っている。

本市では65歳以上の方が約7,400人、16歳以上は16,000人を超える。菅総理は自衛隊などに協力を要請し、大規模な接種会場を設営して早急にワクチン接種を行うとともに、ワクチン供給量を大幅に拡大する考えであると、総務省の担当課長から直接連絡もあったが、接種を行う医師・看護師の確保が課題となっており、接種が全て完了するのは9月頃の予定である。しかしながら、何とか体制を整え万全の体制で臨みたい。

### 3 報告確認事項

#### 報告第1号

##### ●牧野市長

「令和3年度士別市教育推進の重点」について、説明を願う。

##### ●三上部長

本年は基本方針にコロナウイルス対策をキーポイントとして加えている。また、「地域力」「組織力」「人間力」を高め、生かすことが大きなキーワードである。詳細は各課長から説明する。(別紙資料により具体的な内容について各課長から説明)

##### ●牧野市長

コロナ禍により内容変更した点などあるとのことだが、提言やご指摘があれば発言願う。

##### ●加藤委員

コロナ禍にあってGIGAスクール構想による一人一台の端末が整備された。今後、端末の活用が推進され、子どもたちがコンピュータ等を使用する機会が増えることになり、これまで以上にSNSを使ったいじめ等の発生が懸念される。各学校では「いじめ防止基本方針」を定めているが、いじめ防止対策推進法の内容が関係者に充分理解されているか疑問もある。保護者にもネットリテラシーを学んでもらう必要がある。市内からいじめを出さないよう、学校と連携しながら子どもの権利を守っていくべきと感じている。

##### ●中峰教育長

ネットを中心に旭川市の事案が取り上げられている。いじめを未然に防ぐことなど、現実的に難しい点もあるかもしれないが、教育委員会としても、各校で定めた「いじめ基本方針」とのすり合わせを行い、対応策の確認などに努めていく。

●馬場委員

コロナ禍のため子どもたちもストレスを感じており、そのはけ口が良からぬ方に向かわない心配である。自分と違うものを拒絶することないよう指導が必要と感じる。いじめ、LGBTやアイヌ民族などを含め、差別をなくす教育がより大事になってきている。

●牧野市長

関係するすべての人の協力ですっかりと対応してもらいたい。

●山田委員

あさひサンライズホールが行っているワークショップや舞台の企画・公演などは、文化・芸術の振興に大きな役割を果たしており、今後も活動を継続してもらいたい。

GIGAスクール構想のもとに整備した一人一台端末について、今年度から本格的に活用されることになる。初めは困難なこともあるだろうが、一つ一つ解決して子どもたちの学びに役立ててほしい。

●牧野市長

ICT教育の推進については、教員の努力や工夫も必要と感じている。

サンライズホールは舞藝舎に指定管理しているが、職員が生き生きと業務にあたっている。より連携を深め、一層盛んな活動を期待している。

●五十嵐職務代理者

士別ならではの農業学習や、地域資源・企業の協力による体験的な学習などを行っているが、年数を重ねることで流されている部分もあると感じている。一度初心に帰ることも必要ではないか。子どもたちが成長し、一度は士別を離れても、農業学習を懐かしく思い出し、戻って来られるきっかけになれば素晴らしい。

●牧野市長

上士別・中士別地区ではICTを活用したスマート農業が行われ、法人化も進んでいるが、基本的には家族での営農も進められている。水田を所有し、農業学習で米作りをしてもらいたいと思っていたが、なかなか難しいようだ。農業学習のあり方について、もう一度検証しながら実施してもらいたい。

トヨタ自動車やダイハツ工業などの企業に全面的に協力いただき感謝している。今後も連携を強化し、良い関係を築いていきたい。

●中峰教育長

先般の校長面談において、例えば上士別中学校では、特に令和7年度に生徒数が減少し、

それに伴い教員の数も減少してしまう見込みとなっていることについて、学校長からもその解決が大きな課題であるとの話があった。近年、農業者が地域に帰って来た例もあるが、地域の人たちに力を発揮していただき、農産物の6次化による雇用の創出など、地域づくりを進める必要があると感じている。農業学習について、土別小では「みのりの先生」を配置できなかったことから、コミュニティスクールの委員として土別地区農民連盟の委員長に協力いただくことになった。食育やSDGsにつながる発想でもあり、今一度検証していきたい。

これまでスポーツ能力向上事業の講師は、富士通の高平慎二さんに務めていただいていたが、昨年のダイハツ陸上部の協力による取組も踏まえ、合宿チームの協力による事業展開も考えていきたい。コロナ禍ではあるが、本年も対策を講じ安全に合宿を受入れ、各チームの協力をいただいきたい。

## 報告第2号

### ●牧野市長

次に、「新型コロナウイルス感染症への対応」について説明を願う。

### ●三上部長

新年度になり、学校関係では陽性者が1名確認された。その他に、今週月曜に確認された別の陽性者の関連で、小中学生22名と関係者3名、合計25名がPCR検査を行ったが、全員陰性であった。しかし、陰性であっても濃厚接触者と判定された場合は、基本的に2週間程度自宅で療養することとなるが、陽性者と関わりが薄かった「低リスク者」の場合は、すぐに登校・出勤が可能である。PCR検査の結果では陰性であっても、時間差で陽性反応が出る場合もあることから、これからゴールデンウィークに入るが、引き続き対応し、市の対策本部とも連携していく。

### ●牧野市長

連休中には朝日で高校生がバレーボールの合宿を予定している。例年は1箇所にとまって宿泊していたが、密を回避するため分散して宿泊するよう要請した。

## 報告第3号

### ●牧野市長

次に、「東京オリンピック・パラリンピックに向けた対応」について説明を願う。

### ●坂本課長

市長の記者会見でも触れた、ナショナルチームの受入対応や交流方法を検討し、ムーブメントを構築するため、三上部長をリーダーとし、部外からの6名を加えた16名のスタ

ップにより対応することとしたい。5月中旬に発表する予定である。

●牧野市長

オリンピック・パラリンピックの開催について、緊急事態宣言が出ている状況や、医療・選手の対応が可能かなど、わからないことも多いが、国の動向を注視していきたい。市民に不安を与えることがないように、予定している「オリンピックデーラン」や「ディスタンスチャレンジ」など、万全の体制で行ってまいりたい。

4 その他

●五十嵐職務代理者

教育長の代理として、4月28日に開催された「公立高校配置計画地域別検討協議会」のオンライン会議に参加した。名寄市内の高校統合についての話題が会議全体の8割ほどを占めていた。子どもの人数が極端に減り、高校の間口を維持できない状況である。生徒の通学状況についても説明があり、土別から名寄市の高校に通学している生徒がいる一方で、翔雲高校には下川町からも通学しているようだ。また、東高校ではすでに実施しているが、高校におけるコミュニティスクールの重要性も話題になっていた。市立である東高校については様々な情報が入手できているが、同じ市内にありながら道立である翔雲高校については、知らないことも多く、情報交換や連携が必要と感じた。

●中峰教育長

東高校と翔雲高校の交流や高校の魅力化については、前任の谷川校長や吉野校長のときから話題になっていた。次の高校配置計画見直しで、上川北学区で2間口の削減となった場合、どうなるかについては看過できない。総合ビジネス科は生徒数も少ないため、地域の後押しが必要となる。大学への進学状況や部活動の活躍なども含め、アピールを強化してもらいたい。

●牧野市長

中学校の先生にも考えてもらいたい。翔雲高校は、姉妹都市である「ゴールバーン・マルワリー市」との交流や、特産品開発として「天サイダー」のラベルデザインに協力いただくなど、地域に溶け込んでいる学校でもあり、魅力のある学校である。

●五十嵐職務代理者

道外で、学校の防球ネットが倒れ、子どもが死傷する事故があった。学校施設以外にも公園の遊具などは点検を行っているのか。

●牧野市長

点検を実施した結果、危険なものは撤去しており、これまでに相当数対応している。

●中峰教育長

可能であれば撤去ではなく交換が望ましいが、対応できない実情もある。

●牧野市長

5月1日には道内129番目の道の駅となる「まちなか交流プラザ」がオープンする。街の中心部にある道の駅はなかなかない。市民の交流の場として、にぎわい作りに応援いただきたい。また、北海道ベースボールリーグに所属する「士別サムライブレイズ」も初戦を迎え、石狩のチームと対戦する。21名の選手のうち19名は道内外からの転入者である。今後は、道の駅とサムライブレイズのコラボレーションなどにも期待したい。

私の市長としての任期は9月24日までであり、次回の総合教育会議は新しい市長の下での開催となるかもしれない。私は、市職員に始まり、議員経験などを加えると50年ほど行政に携わってきた。市長としては、マニフェストをもとに、市民・議会・職員などの協力のもと取り組んできた。市立病院については病棟再編に成功し、今後の見通しがついたほか、4月から財政健全化実行計画を実施し、5年で完了する予定である。私自身は健康だが、本任期の満了をもって退任する。3期12年お世話になりました。

以上で総合教育会議を終了する。

**【 会 議 終 了 】**